

平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基 本 目 標	2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち
政 策 目 標	5 「宮島」を中心として、多くの人が訪れるまちに
重 点 的 取 組	1 「宮島」のおもてなしをより高める

担当課名	建設部 都市・建築局 都市計画課
予算科目	会計 01 一般会計
	款 07 土木費
	項 04 都市計画費
	目 01 都市計画総務費

事業名	市街地整備関連調査事業	事業開始年度	平成 24 年度
	観光案内版などデザイン統一化検討	根拠法令 条例 個別計画 等	・廿日市市観光まちづくり懇話会報告書 観光地宮島のグ レードアップ施策（H18年）

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市民、来訪者	年間観光客数300万人を安定的に維持しながら、リピーターの増加と滞在時間の延長をめざすという目標の実現に向けて、宮島観光のグレードアップを図っていく“おもてなし”のひとつとして、景観に配慮した歩行ルート、サイン施設や誘導システムの整備などのインフォメーション機能の充実を図る。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	観光協会、商工会等	・道路案内サインや歩行者案内サインなど公共サインの景観形成を図るため連続性・統一性を確保し、利用者・観光来訪者の円滑な移動を支援する。

3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）

宮島地域サイン計画策定業務

宮島において、多種多様なサインが混在し、扱っている情報や盤面の表示に一貫性、統一性がなく、また、周辺の景観と調和していないといった課題を解消するため、自然や歴史的・文化的景観に配慮し、観光客をはじめ全ての人が目的地への移動を安全かつ円滑にでき、景観とも調和しユニバーサルデザインを意識したサインの設置指針を策定した。

都市サイン修正工事

既設置の案内サインについて、経年による劣化等を踏まえ、計画的に地図情報の修正工事を行った。平成25年度は、次の3箇所、5面について実施した。

広電阿品東駅（2面）、広電 J A 広島病院前駅（2面）、峰高公園（1面）

事業費関連

【歳入】

過疎地域自立促進特別事業債2,300,000円

（起債充当事業：宮島地域サイン計画策定業務委託2,310,000円）

【歳出】

宮島地域サイン計画策定業務委託2,310,000円

都市サイン修正工事774,900円

コスト情報（円）

項 目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越
財源内訳	直接事業費 A	2,887,500	3,084,900		
	国庫支出金				
	県支出金				
	借入金（市債）	1,800,000	2,300,000		
	その他(使用料など)				
	市（市税など）	1,087,500	784,900		
人件費（按分）B		0.20 人 1,754,400	0.20 人 1,697,200		
総事業費 (A+B)		4,641,900	4,782,100		
単位コスト換算	①人口（4月1日現在）	118,000 人	117,680 人		
	市民1人当たり	39	41		
②					

到達目標

活 動 及 び 成 果 指 標		単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考
活動	宮島地域サイン計画策定			100	100	100	－ H25で完了
成果	宮島地域サイン計画によるインフォメーション機能の充実				－	－	－ 数値化困難